

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第152号 2017年 4月

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
☎045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

寒い冬を乗り越え植物の芽生えが始まりました



やどりき水源林の春

森の中に入ると、あちらこちらから春の息吹を感じることができます。

散策していると、青々としたコケにおおわれた古い切り株に一本の実生のスギがまっすぐに生えているのを見つけました。

まるで小さな森のようです。

森の中にはこんな美しい世界が潜んでいます。



やどりき水源林のミツマタ

ミツマタの花は小さく、丸くボンボンのように密集して、うつむくように下を向いて咲きます。水源林にはミツマタの花を斜面の下から見上げることができる場所があります。そこは森一面に黄色い花が広がり、かすかな甘い香りが漂っています。

ミツマタはジンチョウゲ科で枝が三つに分かれていることが名前の由来とされています。

樹皮は強い繊維質なので強度の高い良質の紙の原料となることから、紙幣などにも使われています。



新芽が芽吹く

小豆色の枝にみずみずしい緑の新芽がふくらんだミズキを見つけました。初夏には白い小さな花を枝いっぱいに咲かせます。木材は緻密で削りやすく塗装の仕上がりも綺麗なことから民芸品の「こけし」や、大山の「コマ」の材料に使われています。また、昔はラムネのビンの栓ぬきにも使われていました。

サクラ・さくら・桜

やどりき周辺では今年もいろいろなサクラが咲きました。



オオシマザクラ



マメザクラ



ソメイヨシノ

「やどりきの森へ行こう！」 (公財) かながわトラストみどり財団主催

年に3回行われる「やどりきの森へ行こう！」が3月18日(土)に開催されました。今回のテーマは“春が来た！ミツマタ&モモンガの棲む森散策”でした。まだまだ冬を感じる中、38名の方が参加され、ミツマタの香り漂う森を散策しました。次回は6月3日(土)「緑したたる森で癒やし体験」です。詳しくは、やどりき案内人日程のパンフレット又はHPをご覧ください。



ミツマタの香り漂う森を散策



モモンガの樹洞の観察

森の案内人のご紹介

やどりき水源林では水源林を良く知る、かながわ森林インストラクターの「森の案内人」が、その季節に合わせたプログラムを用意して、ご案内いたします。

森の案内人ガイドンス



森の案内人の研修



やどりきでお待ちしています



ミツバウツギ

5月の水源林のご案内

新緑の季節を迎えたやどりき水源林ではヒメウツギ、ミツバウツギ、ニシキウツギとさまざまなウツギの花が咲き、アケビ、フジなどが色を添えます。緑の山、澄み切った空を喜んでいるかのようにオオルリの澄んだ鳴き声が響きわたります。



ヒメウツギ